



〈特集〉

福祉の専門職としての

キャリアデザインをサポート!

福祉職員キャリアパス対応 生涯研修

P06に
登場!

栗原寛美さん

放課後等デイサービスという施設長。福祉職員キャリアパス対応生涯研修指導者、幼稚園・福祉専門学校・高校での指導、福祉施設や病院の立ち上げ、民生委員・児童委員や介護相談員などを経験。介護予防運動指導士、認知症予防コグニサイズ指導者をはじめ様々な資格を持つ。趣味も多彩。



編集発行／社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

静岡市葵区駿府町1番70号 TEL.054-254-5248 FAX.054-251-7508 ✉ spcsw@shizuoka-wel.jp
http://www.shizuoka-wel.jp 令和3年11月1日発行 1部50円 ※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。

Facebook ▶



Instagram ▶





静岡乳児院 副院長
服部有紀さん

杉山さんの入職前の実習を担当。

Q4 キャリアパス研修後、 考え方や行動に変化は？

杉山 受講する前に「中堅職員とは何だろう?」と考えたのですが、新人職員と先輩職員の間の中での存在なので先輩についていけばいい、と思っていたんです。でも、「中堅職員が一番リーダーシップを発揮する存在なんだよ」と講師に言われとても驚きました。そこから考え方が変わり、「ユニット内、乳児院内でリーダーシップを発揮していこう」と思ったんです。ユニット内全員の意見を聞き、課題解決に取り組むようになりました。また後輩職員の指導の役割の一つとして、常に後輩を気にかけて、声を掛けると同時に、「指導」を意識するようになりました。ユニットリーダーに相談をしながら、後輩職員の悩みが少しでも減るように関わっています。

服部 初任者コースを受講した時には、「研修では良い学びができました」というシンプルな感想だったのですが、中堅職員コースでは、「ユニットリーダーとして頑張っていきたい」と目標を見つけ、「組織に貢献したい」という姿勢が見えました。まず今年はサブリーダーとしてユニットリーダーを支えてほしいと思い、頑張ってもらっているところです。

杉山 研修で刺激を受けて、「頑張ろう!乳児院をもっと盛り上げていこう」と思ったんです。そのためにユニットリーダーになってみんなを引っ張れる存在になることが、この先10年の目標です。



Q5 先輩職員からのコメントを 読んだり聞いたりしていかがですか？

杉山 シフト勤務のため、上司や先輩と話す機会は限られるけれど、「こんな風に思ってくれていたんだ」「私のことを見てくれたんだ」と嬉しく、今後の糧になります。良いと言ってもらったところは伸ばしつつ、期待されている部分ができるようになるために今、自分が何をしなければいけないかを考えて行動していきたいと思います。

Q6 今後、キャリアパス研修を 受ける人へのメッセージ。

杉山 研修ではグループワークがとても多く、福祉職員は、高齢者施設でも、乳児院でも、児童養護施設でも、みんな同じ思いで働いている、同じ悩みもあるということが共有・共感できます。自分の施設の外にも、福祉の分野で一緒に頑張る仲間を増やせる場にもなります。また講師からは課題解決に向けたヒントをもらえ、それを職員間で共有することで、より良い施設になることにつながります。

服部 この研修は一定の年齢やキャリアになった時に、そのステージでの基本姿勢を学べるもの。看護師や保育士という専門性に特化した研修とはまた別の大きな学びがあります。これに代わる研修はほかにないので、県内でこういう研修を身近に受けられるのはありがたいです。「自己期待と他者期待」や福祉サービスのニーズなど様々なことが網羅されていて、改めて福祉職員に必須の研修だと感じました。

福祉の専門職としてのキャリアデザインをサポート!

福祉職員キャリアパス対応生涯研修

静岡県社会福祉人材センター研修課では、福祉業界で働く職員がそれぞれのステージに応じたキャリアを積み上げていけるように「福祉職員キャリアパス対応生涯研修」を行っています。専門的な知識や技術の習得と共にキャリアデザインをしていくことで、職員のやりがいの向上、より質の高い福祉サービスの提供につながることを目指しています。実際に研修を受けた2施設の職員と上司にお話を伺いました。

Q1 福祉の仕事に就職した きっかけや想いは？

杉山 私は父子家庭で育ちました。高校生の時友人からの一言をきっかけに、父をはじめ、祖父母や親せきの人たちが愛情をこめて育ててくれたおかげで、不自由なく育ってこられたことに気づきました。そこから私も、家族と一緒に暮らせない事情がある子どもをたくさん愛情を込めて育てたいと思うようになりました。また、大学在学中に児童虐待の報道に触れ、子どもたちを救いたいという思いを持つようになりました。在学中に、この静岡乳児院で実習をし「チルドレンファースト」を理念とした養育、職員と子どもたちの様子を見て、自分もここで働きたいと就職を希望しました。



file
1

Q2 何を目標に研修を 受講しましたか？

杉山 入職1年目で初任者コースを受講し、次のステップとして中堅職員コースがあると聞いていました。入職5年目となり、サブリーダーになる前に中堅職員としての心得を学び気持ちを整えたいと考えました。また、後輩の指導の仕方やリスクマネジメント等について学び、乳児院のために活かしたいと思いました。



お父さん、親戚の皆さんとの
記念写真

静岡乳児院
杉山 舞さん

入職6年目。中堅職員コースを受講。
現在、ユニットのサブリーダーを務める。

Q3 上司の服部さんから見て、杉山さんの仕事ぶりはいかがですか？ 研修でどういうことを学んでほしいと考えましたか？

服部 杉山さんは、子どもと遊ぶのが上手なんです。実習生の時から、「こんなに子どもと上手に遊ぶ学生がいるのか」と驚いたほどです。杉山さんと遊んだ子どもは、気づけば遊びに引き込まれ、泣いている子も泣きやんだりします。そして、言葉で意思疎通を図ることが難しい子どもと遊ぶことは簡単なことのように難

しいのですが、杉山さんは子どもと遊ぶことに対して、手を抜くことがありません。遊ぶ力のある保育士が人を育てる力や組織に貢献していく力を身に付けたら、とても頼もしいと思い、期待して研修に送り出しました。

研修課程のご紹介

日頃仕事をしている中では、自分の想いや今後の目標をひもといて考える機会を持つことはなかなか難しいもの。この研修では、それらとじっくり向き合い言語化することをサポートします。職業人生を歩む上での軸をつくることで、モチベーションの向上や質の高いサービス提供、職場への定着促進につなげます。

ここがオススメ!

キャリアパス対応生涯研修

① 現場で実践を積んでいる講師の話が聴くことができる!

講師を務めるのは福祉の現場にいる方々。受講者の皆さんと同じ経験や感覚で、講義をしてくれます。

② 3日間同じグループで、チーム創りを体験!

施設種別混合のグループで、様々な福祉現場の職員と関わることができます。自分の施設とは異なる視点や考え方を学ぶ機会になります。

③ 自分の福祉職員としての原点を振り返ることができる!

就労動機やこの仕事に対する自分の想いに改めて向き合います。自分の中の軸を確立し、仕事を続けていくためのモチベーションアップにつながります。

④ 受講者と上司のコミュニケーションを促進!

研修の事前課題、事後課題には「上司コメント」をもらうことが研修の構成の1つになっています。上司・受講者が相互理解を深め、共に前向きになることを目指しています。

⑤ 受講料は1,300円!

受講料はテキスト・資料代のみで受講できます。

- 研修のプログラム構成等詳しいご案内はホームページをご覧ください。



file
2



社会福祉法人玉柏会 中央原荘
鈴木執斗(しゅうと)さん(左)

入職10年目。中堅職員コースを受講。
現在、チームリーダーを務める。

支援課長
齋藤雅志さん(右)

入職時から鈴木さんを見守る。
フットサル仲間でもある。

Q2 研修を受ける前の鈴木さんの仕事ぶりは、齋藤さんから見てどんなものでしたか?

齋藤 執斗さんは、まじめにコツコツ仕事をするタイプ。ご利用者のこともよく見てくれています。ただ、自分の中ではいろいろ考えているけれど、周りになかなか伝えられないところがあると感じていました。チームリーダーとして年上に言わなきゃいけないことや我慢して人の話を聴かなければいけない場面が増えるだろうから、研修で心構えができれば良いなど期待していました。

Q3 研修で得たこと、研修後の変化は?

鈴木 様々な施設、職種の異なる福祉職員と一緒にグループワークをすることで、気づかされるが多かったです。特に印象に残っているのは「リーダーは下の人たちの見本となる動きをする」ということ。やるべきことを率先して行い、周りの職員がその姿を見て真似してくれるような存在になりたいと思うようになりました。リーダーとして自分から発言してまとめていく必要があることも強く感じ、研修後は自分からコミュニケーションを取ることが増えました。

齋藤 元々、やるべきことをきっちりやるタイプでしたが、さらに周りの職員の存在を意識して動くようになってきていると思います。部下に対するコミュニケーションも、今や心配ありません。時にグループを超えて、気になることはどんどん声をかけてくれます。

福祉職を目指した

Q1 きっかけは？ また、研修を受ける前はどんな気持ちでしたか?

鈴木 元々は保育士を目指していたんですが、障がい者施設での実習を経験して仕事の楽しさと同時にやりがいを見つけられたので、この道に進むことにしました。就職して約9年間、自閉症の方の支援に関わっている中で業務改善できたらいいなと感じていたところ、チームリーダーになる機会をいただき、研修にも意欲を持って参加しました。



Q4 今後の目標は?

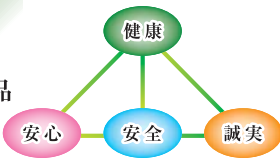
鈴木 「自分が動く」という姿勢を変えず、自分と同じように学び、成長してくれる職員を増やしていきたいです。そう思ったのは、今年3月から同じグループに入った職員からの言葉がきっかけ。最初の1週間くらいは仕事の動きに全然ついてこられなかったけれど、今ではほぼ一人で任せられるようになったその職員が「あなたが育ててくれた」と僕に言ってくれ、嬉しく思いました。

Information

福祉にまつわる様々なお知らせや取り組みをご紹介します。あなたの暮らしに役立つことがあるかもしれません。

事業内容

医薬品、防疫薬、医薬部外品、化粧品、健康食品、健康関連用品各種記念品の取り扱い。



家庭常備薬等の斡旋をご利用ください。

お客様のニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。

大日商事株式会社

TEL(06)6952-7015
FAX(06)6952-7137
大阪市旭区大宮4丁目18番18号



家庭用常備薬の斡旋について

静岡県社会福祉協議会では、社会福祉従事者の方の福利厚生の一環として、家庭用常備薬の斡旋販売をしています。令和3年度は2回の斡旋を予定しています。第2回目の申込みは以下のとおり行います。つきましては、職員の皆様へ御周知いただけますようお願い申し上げます。

大日商事株式会社

【申込用紙送付予定日】11月初旬
【申込締切予定日】12月22日(水) 予定
【商品発送予定日】1月下旬まで
(大日商事株式会社より発送)

※1個当たりの商品価格が市販のものに比べてかなり割安です。各事業所・御家庭用としてお使いいただけます。

ぜひ御利用ください!

施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。

カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

カーペット・タイル出張丸洗い



洗浄前
洗浄後

ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング



株式会社三ナフ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1 0120-370286 fax054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

令和3年度

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

商品パンフレットはコチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJ20-12302 2020.12.28 作成〉

福祉の“中の人”

様々な福祉の仕事について、具体的な内容や魅力を、実際に働いている人に直撃!リアルな声をお届けします。



case.14
放課後等デイサービスという施設長
栗原 寛美 さん
kurihara hiromi



「自分を高めるために、なりたい自分を描くことが大切」

福祉職員キャリアパス対応 生涯研修で指導者を務める栗原さん。様々な経験に基づくキャリアデザインの大切さが心に響きます。

Q 栗原さんご自身のキャリアは?

最初は幼稚園教諭として10年以上勤めました。仕事をしながら結婚・出産・子育てを経験。ただ、第2子である長男は体が弱く入院を繰り返して退院を繰り返していったため、小学校に入学する頃まで、かつて水泳選手だったことを活かしてスイミングスクールで指導をしながら子育てにあたりました。その後、福祉の専門学校や高校で教鞭を執るようになりました。実習巡回中の経験で現場を知るこの大切さを痛感。そんな折、介護老人保健施設や特別養護老人ホーム、病院の立ち上げに携わる機会を得て、ご利用者支援や職員育成に努めました。65歳に近い

た頃、地域福祉の大切さを感じるようになります。地域から民生委員・児童委員を託されました。同時に磐田市の介護相談員も受け入れて共に6年間務めました。6年目になった頃、「放課後等デイサービスという」の立ち上げ依頼があり、障がい福祉に携わることになったのです。

Q キャリアデザインで大切なことは?

現在の自分の姿、等身大の自分を知ることです。過去を変えることはできませんが、現在の自分を知ることによって未来は変えられます。現在の自分は過去の経験・体験の上にあります。できていることやできていないこと、強みや弱みを紐解くこと。よって等身大の自分を知ることができ、今後の目標が見えてきます。過去を振り返りつつ現在の自分と向き合い、未来の自分、なり

たい自分を目指しキャリアアップしていくことの大切さを伝えていきたいと思っています。また、資格取得も自分を強くしてくれます。

Q これからキャリアを積んでいく福祉職員の皆さんに伝えたいこと。

仕事をすることは楽ではありません。つらく悲しいこと、腹立たしく悔しいことがたくさんあります。私も同じ経験をしてきました。でも、「簡単に諦めないで!」と言いたいです。「続けていて良かった」「頑張ってた良かった」と思える瞬間が必ずあります。その成功体験や喜びが自身を成長させてくれます。皆さんを待っているご利用者のために、自身の成長のために、なりたい自分を描き、その実現を目指して頑張ってくださいと伝えたいです。

福祉の現場からこんにちは!

福祉の現場で働く人からの知恵や工夫、日常的に利用できる情報と、素敵なお福産品に出合える場所を紹介します。福祉をより身近に感じるとともに、読者のあなたの生活にもぜひ活用してみてください。

福祉施設職員が伝授! 介護のコツ

社会福祉法人 誠信会
特別養護老人ホーム
課長 石川涼子さん



今の時代、これからの季節に役立つコツです。

マスクの下でも、満開の笑顔でコミュニケーションを。



マスクの着用が当たり前となった今日この頃。顔の半分が隠れて表情がわかりづらいからこそ、コミュニケーションの際には笑顔が大切です。ポイントは、マスクから出ている「目が笑う、こと。これまで以上に全力で笑いましょう。また、目線・アイコンタクトも重要。目が合うと緊張してしまうという人は、相手の眉間辺りを見ると良いですよ。

カードリングでファスナーを使いやすく。



肌寒くなると上着を着る機会が増えますが、高齢者や障がいのある人にとってはファスナーがつまめず自分で脱ぎ着することが困難なことも。そんな時の救世主が「カードリング」。本来はカードや書類をまとめるためのものですが、ファスナーに付けば、指を引っ掛けてスムーズに操作ができるようになります。自立支援としても有効。100円ショップなどで手軽に購入できます。

福産品を探して

グリーンカフェ 花麒麟
(福)裾野市手をつなぐ育成会 みどり作業所

裾野市佐野1059 裾野市役所別棟
☎ 055-992-6065
🕒 9:30~15:00 📅 休・日・祝日



パウンドケーキ 全6種類(プレーン・抹茶・コーヒー・くるみ・ドライフルーツ・ココア)

100%国産バターにこだわったパウンドケーキ。一番人気のコーヒー味をはじめ全6種類を販売しています。5個セットはちょっとした贈り物にもオススメ。ほかにも種類豊富なパン、500円という手頃さが嬉しいランチメニューも充実。窓から木々の緑がきれいに見える店内でいただくことができます。



こちらからも購入できます!

ふじのくに福産品
WEBカタログ
<https://s-seihin.jp>



11月は「児童虐待防止推進月間」です。

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、期間中に児童虐待防止のための広報・啓発活動など様々な取組を集中的に実施します。



「オレンジリボン運動」は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。

オレンジリボン運動を通して子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。